

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526



基礎情報 (H29.1月現在)
区・自治会名: 高木浜自治会
世帯数: 57世帯
高齢化率: 24%

今回は、昨年6月にマキノ町高木浜自治会で開催された集落座談会のようすを紹介します。

高木浜自治会は、平成23年に設立された新しい自治会です。現在の自治会員は、比較的若い年齢層で構成されていますが、20年後、30年後の集落のあり方を見据えて開催されました。

座談会では、自治会活動の担い手不足や役員ごとの負担の偏り、地域内交流や世代間交流の場面づくりの難しさ、防災・防犯に関する心配ごとなどが話し合われました。主な意見としては、「マキノ駅前ということもあり、住民の転入者が多い。顔を知らない方もあり、いざというとき誰を頼っ

たらいいのか分からない。現在は集会所施設がなく気軽に集まれる場所がない。空き地や定住されていない家屋があり、管理面に不安を感じている」などが出されました。

「いろいろな課題や心配ごともあるが、今後も現在取り組んでいるサロンや納涼祭を中心に、普段から顔の見える付き合いの場を提供していきたい。また、「マキノ町の玄関口として美しい環境を守っていきたい」など、自治会活動を通して、人のつながりを大切に安全・安心な地域づくりへの思いが共有されました。

将棋から市政運営を考える

将棋棋士の藤井聡太さんの29連勝という大記録達成などの快進撃が、大きく取り上げられておりますが、14歳ながらプロの棋士と堂々と対局する姿は、目を見張るものがあります。

先日、新旭北小学校の子どもたち3人が、文部科学大臣杯第13回小学校将棋団体戦の滋賀県大会で優勝され、その報告に市役所を訪問してくださいました。その日は少し時間がありましたので、お話をした後、実際に対局もさせていただきました。対局が始まりますと、あどけない子どもたちの様子が一変、真剣そのもの、本番さながらの緊張感の中で、その雰囲気

に呑み込まれてしまいました。将棋と一見、関係のないように見えます市政運営ですが、実は、「王を取る」目標を達成する、「駒を動かす」組織を動かす、「詰める」困難な課題に立ち向かう」など、重なるところ

がいくつかあります。

全国的に大きな問題となっており、人口減少をはじめ、高島市では、安定した財政運営や生活基盤の整備などさまざまな課題を抱えております。将来のあるべき姿を見据え、医療や福祉、教育、環境等の日常生活をお支えしながら地域の活性化を図り、次世代にしっかりと引き継いでいけるような高島市を職員とともに築いてまいりたいと思います。

福井 正明



市長雑記